

検討委員会のスケジュール等について

1 スケジュールと想定する検討項目

日程	検討内容	提示資料
第2回 6/4	・官民連携手法による、市として重視する項目への対応、効果など ・3事業方式の実施に必要なスキーム	・県内や先進地の官民連携導入状況 ・VFM 算定結果、民間意見まとめ ・3方式のメリット、デメリット ・市として重視する項目
第3回 7/3	・官民共同出資会社の実施に関して必要なスキーム ・地元企業への意見徴収内容 ・料金への関与	・3方式の比較、市として重視する項目との比較 ・官民共同出資会社による効果・懸念点への対応 ・地元企業の意見聴取内容 ・料金への関与方法
第4回 調整中	・地元企業・料金など懸念事項への対応 ・事業方式の方向性 ・これまでの論点整理、提言（案）の調整	・職員派遣による想定イメージ ・地元企業の意見概要 ・提言（案）の調整
第5回 8/19	・提言（案）の最終調整 （※提言書の受け渡し） ※=進捗状況により、延期する場合あり。	・事業条件(地元経済、料金設定) ・提言（案）

2 ご意見・ご質問等に対する対応

項目	対応
ガス事業における要対策管の割合を示してほしい	本資料で提示します。
上水道水源地の一覧が知りたい	
コスト縮減効果の根拠を知りたい	資料2で提示します。 なお、事業方式によるメリット、デメリットに関しては、事業方式を検討する上で極めて重要な要素のため、第3回検討委員会以降も引き続きご議論を頂く予定です。
事業方式別のメリット・デメリットを深掘してほしい	
出資会社へ市はどのように関与するか	第2回検討委員会（今回）及び第3回以降の検討委員会で随時資料を提示します。
カーボンニュートラルに関する条件や官民連携への反映はどのようにするか	
市側として残すべき技術の具体例を示してほしい	
地元企業等の意見を聞いてほしい	

要対策管の現状

当市における要対策導管の延長、割合は以下のとおりである。

	総保有量	うち、要対策導管				割合
		ねずみ鋳鉄管	腐食劣化対策管 (白・黒管)	腐食劣化対策管 (その他)	合計	
中圧本支管(km)	25.42	0	0	0	0	0.00%
低圧本支管(km)	327.169	0	0.915	0	0.915	0.28%
供給管(本)	14,625	0	131	0	131	0.90%
灯外内管(本)	13,633	0	1,632	0	1,632	11.97%

【参考】耐震化率（R4年度）

（令和4年度末 関東東北産業保安監督部への報告資料より）

全国平均 91.9%

糸魚川市 95.3%

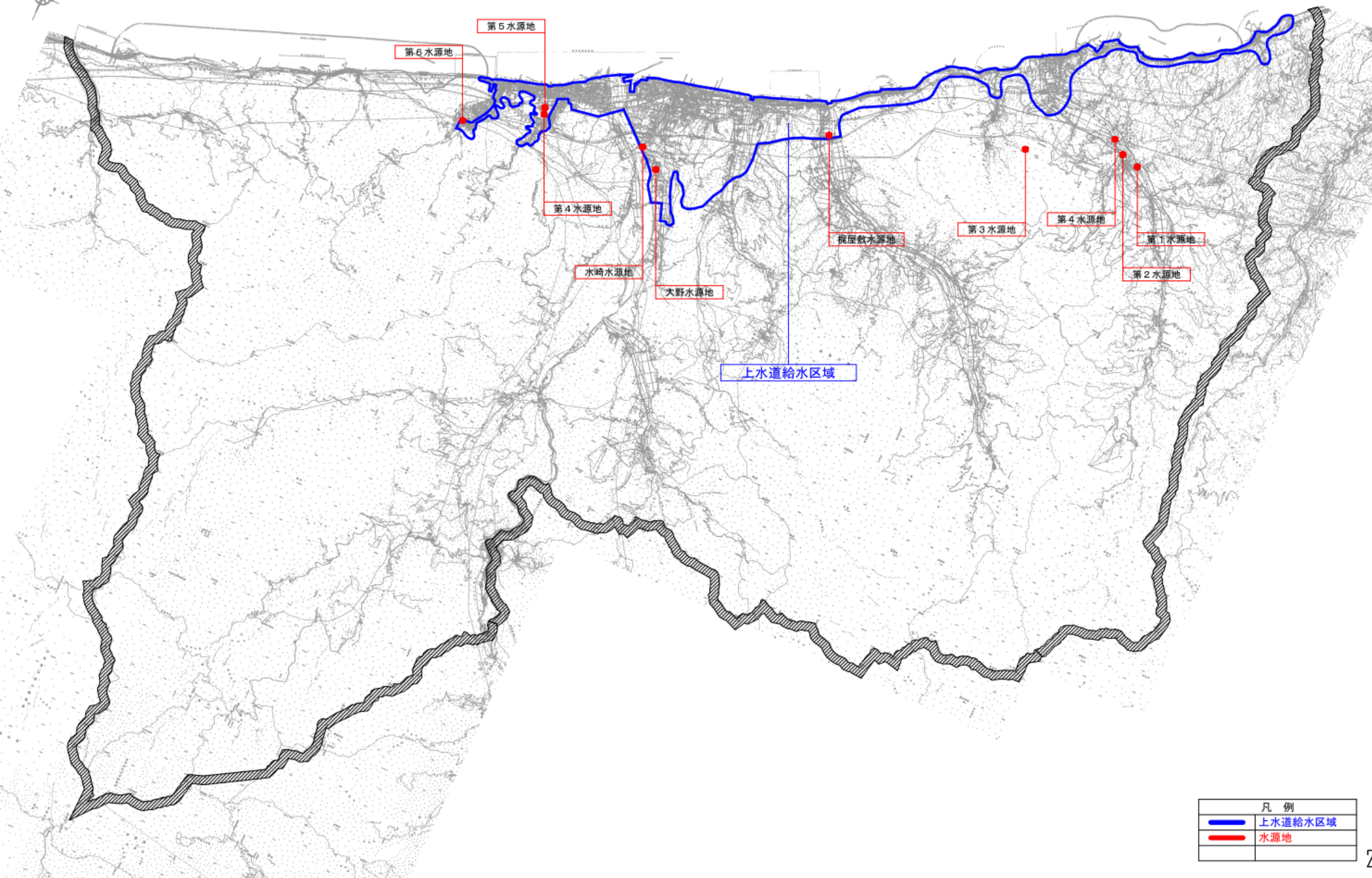
【用語解説】

本支管 …導管のうち、道路に並行して埋設されているもの

供給管 …導管のうち、本支管から分岐して使用者が占用し、または所有する土地と道路との境界線に至るまでのもの

灯外内管…導管のうち、使用者が占用し、または所有する土地と道路との境界線からメーターガス栓までのもの

系魚川市上水道水源地位位置図



凡 例	
—	上水道給水区域
●	水源地